

経営比較分析表（令和6年度決算）

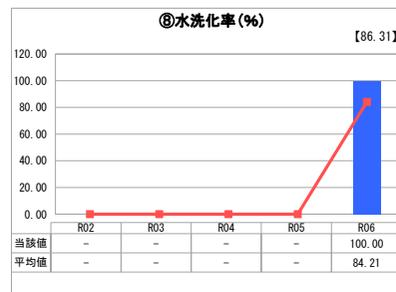
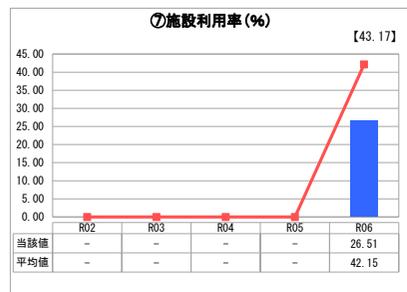
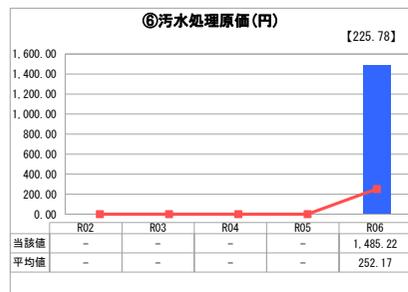
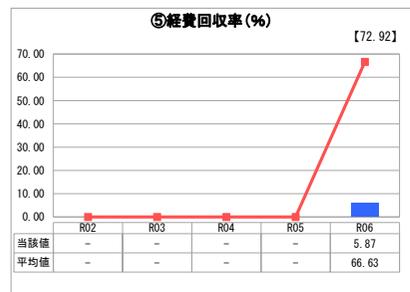
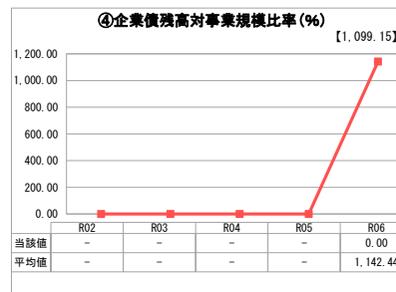
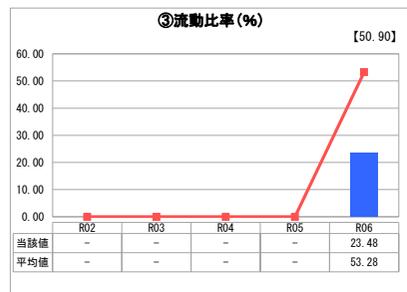
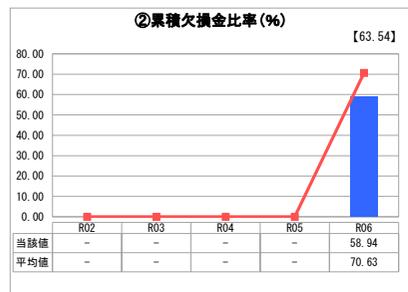
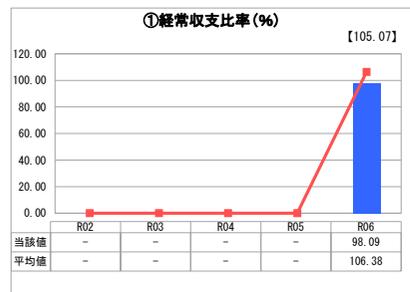
青森県 新郷村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	81.87	39.87	92.56	1,760

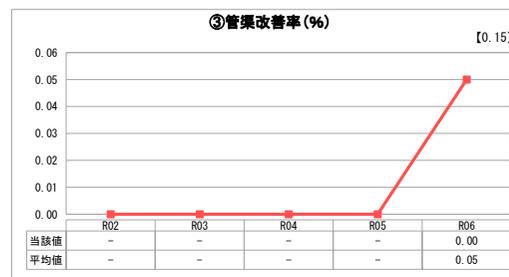
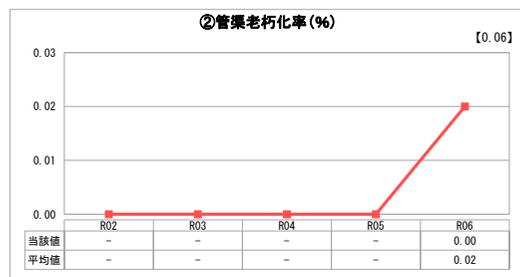
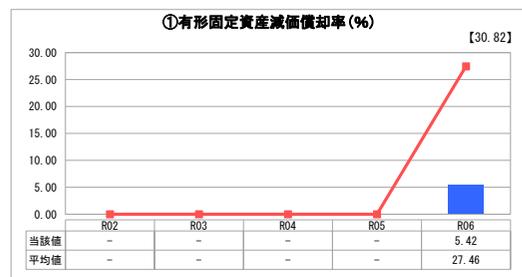
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
2,059	150.77	13.66
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
803	0.77	1,042.86

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は約98%であるが、一般会計繰入金が多くになっているためである。累積欠損金比率は約59%と類似団体平均値より低くなっているが、一般会計繰入金の補填によるものである。流動比率は23%と低くなっており、企業債償還が集中しているためである。企業債残高対事業規模比率は、平成27年度以降は企業債償還を全額一般会計で負担していることを定めているため、グラフ上は表示されていないが、類似団体平均の約3倍と高くなっている。(R6当該値：2994.6%)
経費回収率は約6%と低く、使用料の低廉及び維持管理費高騰が要因となっている。汚水処理原価は類似団体平均の6倍となっており汚水処理費が高いことが主な理由として考えられる。施設利用率は26%と低くなっており、人口減少等による需要減が考えられる。水洗化率は100%となっている。

2. 老朽化の状況について

管路施設は、建設から30年経過しているものがあるが、まだ更新時期に至っていないため、管渠更新率は0%となっている。これまで腐食の恐れのある箇所について点検調査を実施してきたが、今後は重要幹線等から順次、点検調査を進め、その結果に基づき適切な時期に老朽化対策を実施する。
処理施設については、令和元年度からストックマネジメント計画のに基づき、順次改築更新を実施している。

全体総括

下水道事業は、生活環境の保全に不可欠な基盤である一方、経営環境は年々厳しさを増している。人口減少等により使用料収入の伸びが見込みにくく、施設の老朽化による更新需要は増大している。また、専門人材の確保が難しく、維持管理体制の持続性にも課題がある。さらに、職員給与費や物価・エネルギー価格の上昇により営業費用も増加している。このため、下水道事業は収益減少と費用増加が同時に進行する状況にある。今後は計画的な更新投資、広域化・共同化、人材確保、適正な使用料水準の検討を通じて、持続可能な事業運営を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。